

論文要旨

論文題目：商社における金属資源事業のリスクマネジメントに関する研究

氏名：村上 啓二

本論文は、商社における金属資源事業について、事例研究による成功/失敗条件の検証、鉱山事業の最適売却タイミングの分析モデルの開発、鉱山ポートフォリオの長期最適化モデルの開発及び実用性の検証、並びに商社事業の動的ポートフォリオ最適化の検証を通じて、最適なるリスクマネジメント方法を提示している。本論文は6章で構成されており、各章の概要は以下の通りである。

第1章は序論であり、近年の金属資源業界に対する課題認識と商社における金属資源事業のリスクマネジメントに対する重要性を体系的に論じている。更に本論文の基本的考え方として中心命題を設定した上で、各章の位置付けを示している。

第2章では、商社の金属資源事業のリスクマネジメントに関する事例研究を行い、経営モデルを分析している。また金属資源業界の動向及び商社/資源メジャーの経営手法の比較分析等を通じて、金属資源事業の成功条件を提示している。

第3章では、商社の鉱山事業の特徴に着目し経営選択として「売却」と「保有・採掘の継続」を設定の上、鉱山事業を適切なタイミングで売却し商社に最大の利益をもたらす為の意志決定を可能とする計算モデルを開発している。更に、本モデルによって算出された値は実務的・定性的に考察した値と整合性をもつことを提示している。

第4章では、鉱山ポートフォリオの長期最適化モデルを開発している。更に、過去の鉱山売買取引の具体事例データによる計算結果を算出し、同モデルの実用性を検証の上、実務的示唆を示している。従来の動的ポートフォリオの最適化に関する理論は金融工学に基づき、投資家から見た金融商品の動的ポートフォリオについて論じられている。一方、本論文の貢献は、事業会社の金属資源事業の動的ポートフォリオの最適化に関して新規にモデル開発及び検証を行い、モデル計算の結果が実務面において有効性が高いことを立証したことでありと論じている。

第5章では、商社事業全体の動的ポートフォリオの最適化について論じている。商社は事業ポートフォリオ戦略として、安定収益を稼げる非資源事業を基盤としつつ、高い利益が期待できる金属資源事業に対して一定の経営資源を配分している。但し、商社は金属資源事業に配分できる経営資源に制限がある為、投資金額や資産規模にCAPを設けて、その範囲内で選択と集中を徹底し、積極的に優良資産へ入れ替えることにより、事業ポートフォリオの質を向上できることを解明している。

第6章は結論であり、本論文で得られた研究成果を取り纏め、中心命題の立証を行っている。最後に今後の研究課題を示している。